【資料１】

令和６年２月５日 鶴見区議員団会議 財政局、教育委員会事務局、鶴見区

（仮称）豊岡町複合施設再編整備事業について（報告）

１　概要

豊岡小学校（鶴見区）の建替えの機会を捉え、鶴見駅に近い立地を生かした複合施設（小学校、図書館、保育所、区民活動センター、民間施設等）の整備を検討しています。

２　検討状況について

（１）基本構想の策定について

基本構想では、事業の目的や施設のコンセプト、導入する機能や施設、施設整備の基本的な考え方などを示します。

基本構想の策定は、意見交換会やホームページでの意見募集等により、小学校保護者の方や地域のみなさま等からのご意見を伺いながら、段階的に検討を進めており、令和６年２月中に「基本構想」を確定し公表する予定です。

（２）意見交換等の経過

令和５年５月 15 日　豊岡小学校保護者説明会

５月 21 日、27 日　意見交換会１（ワークショップ）（計 30 名）

↓

10 月 20 日　「基本構想（素案）策定に向けた考え方」公表

↓

10 月 20 日～11 月 10 日　ホームページでの意見募集（計 20 件）

10 月 28 日、29 日、11 月２日　意見交換会２（計 24 名）

↓

12 月 26 日　「基本構想（素案）」公表

↓

令和５年 12 月 26 日～令和６年１月 24 日　市民意見募集（計 19 件）

令和６年１月 13 日、16 日　意見交換会３（計 19 名）

↓

令和６年２月中　「基本構想」確定（予定）

↓

令和６年度（予定）　事業計画案公表

意見交換会、意見募集

事業計画確定

３　基本構想（素案）

・別添資料「概要版」にて説明

４　意見交換等の主なご意見等

いただいたご意見を参考に、基本構想の策定を進めています。また、事業計画など今後の具体的な計画の検討にも生かしていきます。

〇コンセプト、導入する機能等について

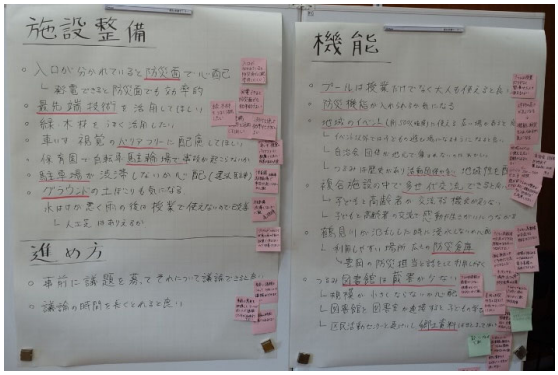
・まずは**小学校の教育環境の確保**をしっかり行った上で複合化を進めるべき
・**複合化により新しい魅力的な施設**ができることを期待している
・新しい**図書館が充実**したものになるよう期待している
・色々な年代が通える場所になるのは**新たな交流**が生まれると思う
・障害児・医療的ケア児も利用しやすく、インクルーシブな場所にしてほしい
・学校の授業にも一般利用にも使える民間プールが入るとよい

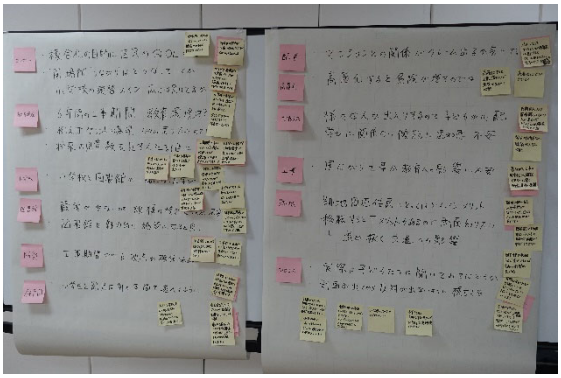
〇施設計画等について

・学校開放、活用も必要だが、**防犯面**をしっかり検討する必要がある
・周辺道路に影響を与えない**駐車場、駐輪場の整備等**、交通対策が必要
・**誰でも使いやすい**ようユニバーサルデザインの配慮が必要
・災害時の**防災拠点**の機能確保や動線にも配慮してほしい
・**工事期間中の教育環境や防災拠点**の確保も重要

〇その他

・**情報発信**の強化が必要（**小学校保護者や入学前の子育て世代の方**など）
・意見がどのように反映されているか示してほしい





（仮称）豊岡町複合施設再編整備事業　基本構想（素案）概要版　（1/2）

別添資料

1　事業の目的

豊岡小学校は、大正時代に現在の場所に設置された、地域に根差した愛着のある施設です。

また、豊岡小学校が立地する場所は、駅や商店街に近接する利便性の高い場所です。

現在の豊岡小学校の学校施設は、老朽化が進んでいるため、建替えにより、教育環境の向上を図ることとしています。

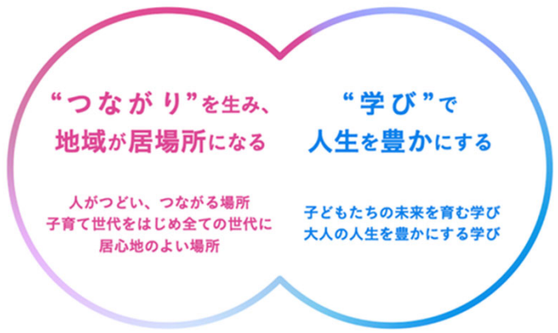
この機会を捉え、豊岡小学校の周辺の鶴見図書館、鶴見保育園、つるみ区民活動センターと併せて再編整備し、子どもから高齢者まで、安心して過ごすことができる場、生涯学習や地域活動を行うことができる魅力的な場、地域の方々の多様な思いが込められた新しいコミュニティの場とすることなどを目指します。

また、公共施設の複合化に加え、民間機能等も併せて導入することや民間事業者のアイデアやノウハウを活用することで、より良い市民サービスの提供や将来にわたり地域の活力向上や賑わいの形成にも効果が期待できます。

各公共施設の機能を高め、効率的な整備運営を進めつつ、小学校単独の建替えでは成しえない相乗効果や新たな価値を生み出し、地域の活性化や魅力向上を図ります。

2　複合施設のコンセプト（目指す姿）

『　つながる学び舎　』



上　：親子の居場所
右上：人や活動がつながる
（高円寺アパートメント
※写真提供　／
株式会社まめくらし）
右下：多文化共生

①子育て生活に彩りをそえる

- 人のつながりによる、地域での**子育ての安心感、身近な子育て支援等**
- **多様な主体**（小学校、図書館、保育所、つるみ区民活動センター、地域、民間、 NPO等）の**連携による、子どもの豊かな学び・体験**の機会の創出
- 次世代に求められる**豊かな能力の育成**
- 子どもや子育て世代が**安心して充実した時間を過ごせる居場所づくり**

②多世代が楽しく、学び、活動し、つながり、賑わう

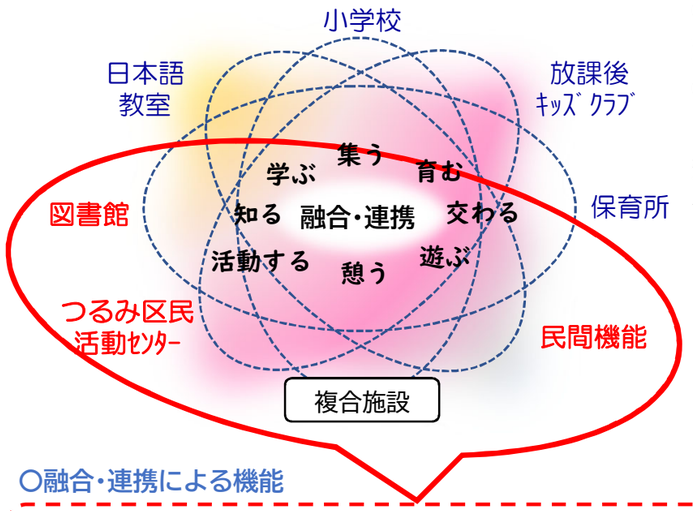
- **気軽に立ち寄り、居心地よく過ごせる**場づくり
- **人や活動が自然とつながる運営や空間づくり**の工夫
- **民間機能と連携**した運営の工夫による活力や賑わいの促進
- **あらゆる世代**が生き生きと学び、**活動できる**場づくり

③地域の思いを新しいコミュニティの形に

- **多様な主体の連携、多世代交流、多文化共生**による、**コミュニティ**の創出
- **地域住民等が活躍**できる機会づくり
- 地域活動、コミュニティビジネス等の**活性化サポート**

3　複合施設の運営、整備の方針

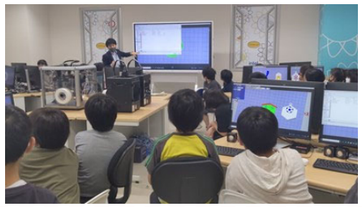
●施設の融合・連携のイメージ図



（仮称）豊岡町複合施設では、各公共施設の機能のうち、新たな活動や学び、出会いの創造が期待できるものをつなぐ、又は拡充することで、更に充実した市民サービスの提供を目指します。

また、各公共施設等のサービスとの相乗効果を期待して、複合施設のコンセプトに合った民間機能の導入を検討します。

●STEAMラボ（戸田市立戸田東小学校）
※写真提供　／　戸田市教育委員会



○融合・連携による機能

活動内容	機能等イメージ	施設の一例※1
憩う・集う	・気軽に入れ、落ち着いて、居心地よく過ごせる場 ・自然と人のつながりが生まれる場	ラウンジ、カフェ 情報コーナー
交わる・活動する （地域活動・生涯学習）	・多世代や多様な国籍の方々が交流し、つながる ・地域の活動を知り、つながるきっかけづくり ・地域の活動や多様な文化の発信	ギャラリー、多目的スペース コワーク（働くための共同スペース）
学ぶ・交わる （小学生・中高生）	・新たな発見や満足感を得られる創造性を刺激する学びやものづくりを体験できる場 ・子ども同士のコミュニケーション、共同活動を通じて多様な能力が育まれる場	ラーニングコモンズ※2、 STEAMラボ※3、知育系施設
遊ぶ・過ごす （小学生・中高生）	・子どもが楽しく元気に過ごせる場 ・保護者も安心できる子どもの居場所	プレイスペース、学習スペース
遊ぶ・交わる （親子・乳幼児）	・子どもが楽しく元気に過ごせる場 ・好奇心をそそる、工夫された空間や働きかけ ・保護者がくつろぎ、交流できる場 ・情報発信や相談を通じた子育て応援	親子フリースペース 託児、子育て相談
知る・深める	・多様な学びを深める場 ・学びや活動の課題解決を支援する場	読書、学習、仕事スペース 情報支援、ICT
健康増進	・スポーツによる健康づくり ・スポーツを通じての憩い・交流	スポーツジム、プール

※1 民間事業者からのご意見や提案内容にもよりますので、これで確定したものではありません。
※2 複数の学生が集まって、電子情報も印刷物も含めた様々な情報資源から得られる情報を用いて議論を進めていく学習スタイルを可能にする「場」を提供するもの。
※3 科学、技術、工学、アート、数学を、総合的に応用してものづくりを行うための教室や研究室など。

（仮称）豊岡町複合施設再編整備事業　基本構想（素案）概要版　（2/2）

4　複合施設整備の基本的な考え方

○教育・保育環境の向上

・小学校、保育所は、施設整備基準等に基づき、必要な広さ（教室、グラウンド、保育室等）や機能を整備します。

小学校は、児童が安全に、安心して、快適に過ごすことができる、多様で豊かな学びの場を整えます。
4棟に分かれている小学校の校舎棟・体育館を集約化し、移動動線の短い、使い勝手の良い配置とします。
現在不足している多目的室、会議室を新たに設け、アリーナ面積720㎡の体育館を整備します。

・小学校・保育所には、専用の出入口を設けるなど、必要なセキュリティを確保し、安全安心な環境を整えます。

○利便性や安全性等への配慮、環境への配慮

・児童生徒の登下校等や各施設の利用者の利用動線、車両動線等を分離します。
・多様な方々が安心して使いやすい施設となるよう、ユニバーサルデザインに配慮した計画とします。
・条例等に基づく駐車場・駐輪場台数を確保するとともに、利用性や安全性の観点から適切な位置に確保します。

○防災拠点の機能

・体育館棟は建替え中も地域防災拠点としての耐震性を確保して整備します。

○コンセプトを踏まえた空間づくり（図書館、つるみ区民活動センター等）

・横浜市図書館ビジョン（素案）（以下「ビジョン（素案）」という。）の趣旨を踏まえた施設整備を行います。

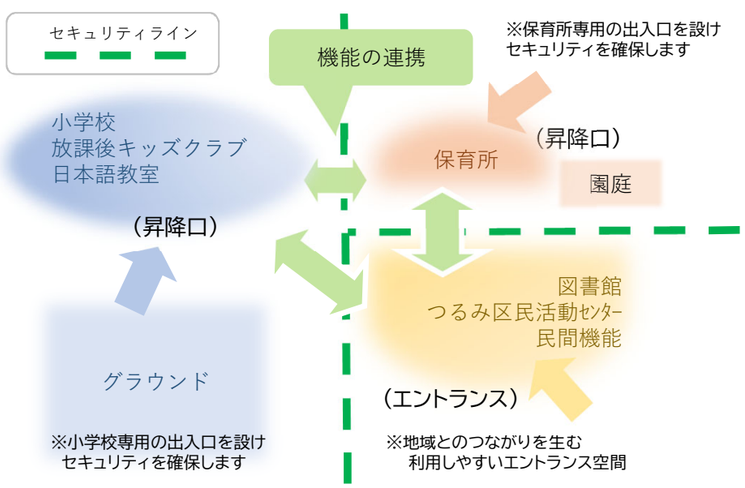
参考：新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方「居心地のよい空間づくり」（ビジョン（素案）より）

●スペースと過ごし方のイメージ

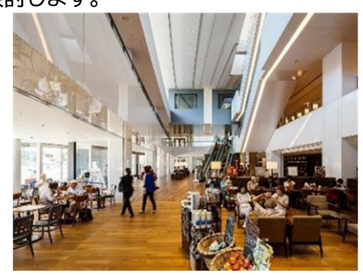
・複合化による利用者の増加と多様な活動を支えるため、図書館の所蔵する蔵書・情報を拡充し、機能を充実します。
・子どもの学びと読書を支えるため、学校図書館と市立図書館が連携しやすい配置を検討します。
・開放的な空間、気軽に滞在できる空間を設けるなど、自然と人のつながりが生まれる空間づくりを工夫します。
・あらゆる世代や国籍の方にも分かりやすい情報提供や交流の場の創出に取り組みます。
・豊岡通り側に賑わいが生まれるような空間形成とします。

○環境への配慮

・環境性能の高い施設整備、木材利用の促進、再生可能エネルギーの導入等を検討します。



●セキュリティ概念図



●開放的な空間

●滞在できる空間

※写真提供　/
上：大和市文化創造拠点シリウス/近代建築社　下：石川県立図書館

5　複合化を検討する施設、規模

○現在規模

施設・機能	豊岡小学校	放課後キッズクラブ	日本語教室	鶴見保育園	鶴見図書館	つるみ区民活動センター
現延床面積	約6,300㎡	約100㎡	約100㎡	約620㎡	約1,510㎡	約170㎡

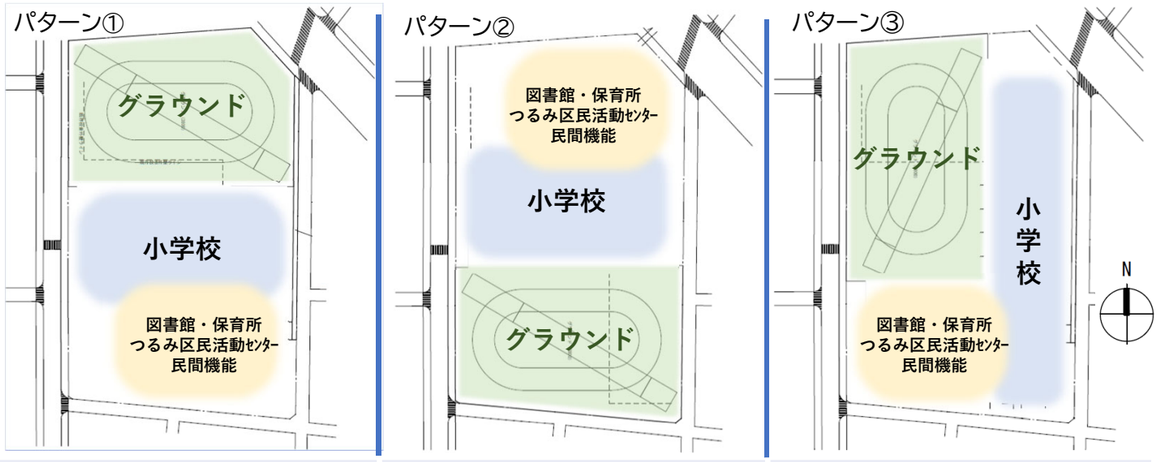
○想定規模※1

			民間機能
整備後延床面積	約8,000㎡（放課後キッズクラブ、日本語教室を含む面積）	約900㎡	検討中※2

※1　現時点の想定であり、確定しているものではありません。今後の設計段階において具体的に検討します。
※2　図書館、つるみ区民活動センター、民間機能との機能融合、連携を踏まえて検討します。

○施設配置の検討

配置パターンの標準的な例を示したものです。今後、メリット、デメリットを精査し、配置の方針を検討していきます。
（3つの例のいずれかに決まるものではありません。）

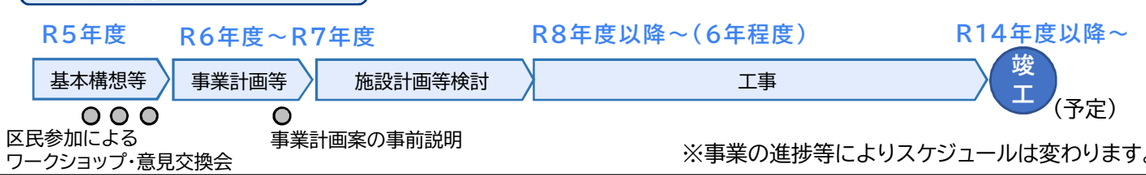


パターン①	パターン②	パターン③
・北向きの教室が多く配置される ・小学校校舎を先行して建築することができる ・夏季のグラウンドへの日照を緩和できる	・南向きの明るい教室を多く配置できる一方、一部北向き教室となる ・グラウンドで周辺からの視線が気になりにくい ・グラウンドの日照を確保できる	・東向き、西向きの比較的明るい教室を配置できる ・通りの賑わいと開放感を出しやすい ・夏季のグラウンドへの日照を緩和できる

6　事業手法

公民連携を視野に入れ、「質の高い公共サービスの提供」、「本市の財政負担の軽減や財政支出の平準化」、「工期の短縮」など、総合的な視点から比較検討を行い、最適な事業手法を選択していきます。

7　整備スケジュール



※事業の進捗等によりスケジュールは変わります。

（仮称）豊岡町複合施設再編整備事業については、横浜市のホームページに掲載しています。

【ホームページアドレス】https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/zaisei/fmsuishin/facility-management/toyooka/

建替えによる機能改善の例

教室数の変移（予定）

教室・諸室	現状	建替後（予定）	増▲減
普通教室	23CR※1	19※2CR	▲4CR
多目的教室	-	7.5CR	7.5CR
会議室	-	1CR	1CR
職員室	2CR	2.5CR	0.5CR
地域交流スペース	-	0.5CR	0.5CR
PTA会議室	-	0.5CR	0.5CR
体育館（アリーナ面積）	414m²	720m²	約300m²

※1　CR：クラスルームの意味で、教室を表す単位。 1CR＝8m×8m＝64m²

※2　住民基本台帳に基づく「令和5年度義務教育人口推計」による、令和11年度の普通教室数の予測は19CRです。

義務教育人口推計は毎年更新されるため、実際の規模については、工事着手時に最新の推計等を参考に決定します。

参考資料1

【参考資料】

（仮称）豊岡町複合施設再編整備事業基本構想の策定について

～意見交換会等でいただいた主なご意見など～

１　基本構想の内容と検討の進め方

基本構想では、事業の目的や施設のコンセプト、導入する機能や施設、施設整備の基本的な考え方などを示します。

基本構想の策定は、段階的に検討を進めており、令和５年 10 月には、「(仮称）豊岡町複合施設再編整備事業基本構想素案の策定に向けた考え方」について、意見交換会や意見募集を実施し、いただいたご意見等を参考に、「(仮称）豊岡町複合施設再編整備事業基本構想（素案)」を作成しました。

この「基本構想（素案)」について、意見交換会と市民意見募集を実施し、令和６年２月頃に「基本構想」を確定し公表する予定です。

２　「基本構想（素案）の策定に向けた意見交換会」（令和５年 10 月、11 月実施）等の意見要旨について

意見交換会及び意見募集では、複合化についての配慮事項や施設整備に関すること、事業目的の明確化など様々なご意見をいただきました。いただいたご意見を次のように受け止め「基本構想（素案)」の作成にあたり参考にしていますので、主なものをお示しします。

ご意見の受け止め （カッコ内は具体的なキーワード）	基本構想（素案）での考え方
・子どもの教育環境の確保を大切にしてほしい **・グラウンドが削減されるのではないか不安** （複合化が主目的になって小学校の建替えがなおざりになることを懸念／学校がどうなるかをより重視したい／狭い敷地に様々な機能を入れるとグラウンドが減らないか心配）	教育環境が向上するよう、教室やグラウンド等は現在の整備水準に基づき整備することや小学校の機能、整備の方針、諸室等を記載しています。また、複合施設全体のおおよその配置の例を示しています。 【参照】3.1 複合施設整備の基本的な考え方／3.2.1 小学校／3.2.9 複合施設の配置の検討
・誰にでも使いやすい施設であると嬉しい **・安全・セキュリティへの配慮が大切** （車椅子・視覚障害・高齢者などへの配慮／安全やセキュリティへの配慮）	バリアフリー、ユニバーサルデザイン、安全、セキュリティ等に配慮した計画とすることなどを記載しています。 【参照】3.1 複合施設整備の基本的な考え方
・財政上の事情が分かった方が納得できる （財政面からも複合化が必要だということを明確にすることが重要）	事業の背景として、横浜市の公共施設の再編整備についての方針等を記載しています。 【参照】1.1.2 事業の背景（公共施設の再編整備の必要性）
・将来も必要な機能を選ぶことが重要だ （将来の人口減少も踏まえて検討すべき／周囲に保育園が多く立地している／中学校との複合化もよいのでは／子どもだけの施設でよいのでは）	公共施設の再編整備の方針や複合化による相乗効果、各公共機能の役割等を踏まえ、小学校、保育所、図書館等を複合化の対象としています。 【参照】1.1 目的と背景／2.2.1 複合施設の基本的な方針／2.3 各施設の基本的な機能・目的等

ご意見の受け止め （カッコ内は具体的なキーワード）	基本構想（素案）での考え方
・多くの人が集まれる場があることが大切だ （皆が集まるための施設があると嬉しい／地元団体等の交流イベントを開催できるとよい）	多世代や多様な国籍の方々の交流や地域の活動の発信など多目的に利用できる空間づくりや運営を進めます。 【参照】2.4 融合・連携による機能
・多世代が交流できる場が必要だ （かつては子どもと高齢者が商店街で交流していた／多様な人が同じ空間に同居することも大切）	複合施設のコンセプトとして、多世代のつながりが生まれる運営や空間づくりを工夫することとしています。 【参照】2.1 複合施設のコンセプト（目指す姿）
・商業施設は問題なく導入できるのか心配 **・民間施設の規模がどうなるか気がかり** （商業施設を導入するのが難しいのではないか／民間施設の規模によっては施設全体のコンセプトにも影響）	民間機能については、複合施設のコンセプトの実現に寄与する機能を想定しています。今後、民間事業者からのご意見なども踏まえて、規模や詳細を検討していきます。 【参照】3.2.7 民間機能
・現在の鶴見図書館・保育園の移転跡地の検討も必要 （跡地がどうなってしまうのかが心配）	鶴見図書館・保育園が建っている土地は、ＵＲ都市機構から借りているものです。移転後の活用については、現時点では、未定です。
・工事期間中、児童の安全性や学習環境への影響が心配だ （工事期間中は別の場所に小学校の仮設校舎を設けて仮移転し、児童の安全性を確保してほしい／工事中に在学している子どもたちの生活、学習環境などが心配）	近隣に仮移転の適地はないため、現在の小学校の敷地の中で建替えることを想定しています。安全性に配慮して、授業等への影響が軽減できるよう工事を進めます。 具体的な工事計画については、今後、施工事業者による計画ができた段階で保護者の方々等にご説明する予定です。

【資料２】

令和６年２月５日
鶴見区議員団会議資料
市民局窓口サービス課

「お悔やみ窓口」のモデル区での試行実施開始について（報告）

１　趣旨

お亡くなりになった際の手続は、「必要な手続が複雑で分かりづらい」、「各課で同様の説明や書類の記載を何度も行うことが負担」などの意見が寄せられており、本市では主要な手続を掲載した「お悔やみハンドブック」の作成や、簡単な質問に答えるだけで必要な手続を抽出できる「手続ガイド（お悔やみ）」のウェブページへの掲載などの取組を進めてきました。

今後も高齢化の進展に伴い、お亡くなりになった際の手続の件数は一層増加することが見込まれることから、身近な方を亡くされた御遺族に寄り添い、手続の負担軽減を図るため、「お悔やみ窓口」の設置について検討することとしました。

「お悔やみ窓口」の設置検討にあたって、**鶴見区・瀬谷区**の２区をモデル区として試行実施を開始しましたので御報告します。

※「お悔やみ窓口」とは、亡くなった方や御遺族の状況に応じて必要な手続を抽出し、申請書作成の補助や受付、関係する課への案内等を行う専用窓口のことです。

２　モデル区の選定理由

人口規模や 65 歳以上の人口割合、死亡者数等の大小や庁舎状況などを総合的に勘案し、モデル区を選定。

３　お悔やみ窓口の概要

(1)　設置場所

鶴見区役所１階区民ホール内

(2)　開設日

令和６年１月 30 日（火）（１月 22 日（月）から予約受付開始）

(3)　利用できる方

鶴見区に住民登録があった方の御遺族

(4)　利用可能日時

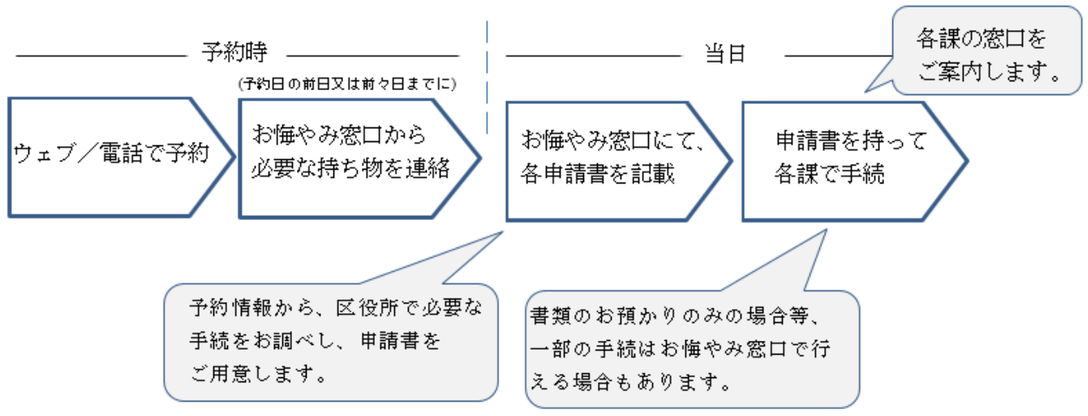
・平日（第２・４土曜日の開庁日は不可）
・予約制（１枠１組）
①９時 00 分～９時 50 分　②10 時 30 分～11 時 20 分
③13 時 30 分～14 時 20 分　④15 時 00 分～15 時 50 分

(5)　利用方法

５営業日前の 16 時までに次のいずれかの方法で予約
・ウェブ（横浜市電子申請・届出システム）
・電話（鶴見区：045-510-1703）

《鶴見区お悔やみ窓口》

４　お悔やみ窓口の流れ



※書類のお預かりのみの場合等、一部の手続はお悔やみ窓口で行います。
※手続していただく窓口の一覧表も作成し、お渡しします。
※区役所以外の主な手続（年金等）についても御案内します。
※予約されていない方につきましては、各課への事前照会ができないため詳細な御案内まではできないこともありますが、予約枠が埋まっていなければ、当日対応することを想定しています。

５　スケジュール

年月	具体的な対応
令和６年１月	モデル区での試行実施開始
令和６年２月～７年３月	・モデル区での試行実施の検証 ・今後の展開を検討

【資料３】

令和６年２月５日
鶴見区議員団会議資料
鶴見区総務課

令和６年能登半島地震に係る
石川県輪島市への支援について

１　輪島市への義援金【鶴見区としての取組】

令和６年能登半島地震では、鶴見区の友好交流都市である石川県輪島市も被災していることから、鶴見区役所では、職員有志による輪島市への義援金を送ることとしました。

また、地域の方からも「鶴見として輪島市に支援の思いを届けたい」などのお声をいただいていることを踏まえ、鶴見区として、「輪島市への義援金」にご協力いただける団体等を募り、目録として取りまとめて、鶴見区職員有志による義援金と共に輪島市へ届けることとしました。

（募金期間：令和６年２月 16 日まで）

２　輪島市に対する本市全体の支援（令和６年１月 30 日現在＊実施済含む）

・市庁舎、各区庁舎等での募金（1/4～2/29）（日本赤十字社を通じて被災地全域へ支援）
・緊急消防援助隊の派遣（1/8～2/1）
・応急給水（1/3～2/4）
・水道施設応急復旧（1/5～2/1）
・災害廃棄物処理　災害復旧支援隊の派遣（1/15～30）
・災害用トイレトレーラー派遣（1/19～）
・応急危険度判定士の派遣（1/15～1/19）

＜参考：石川県輪島市　と　横浜市鶴見区　のつながり＞

輪島市と鶴見区は平成 25 年に協定を締結し、友好交流都市として、さまざまな事業を連携して実施し、交流を図っています。

鶴見区にある大本山總持寺は、元々は石川県輪島市門前町にありました。明治31年（1898年）の大火で多くを焼失し、本山は鶴見へ移転しました。

現在、輪島にある總持寺は祖院として、地域に開かれ、親しまれています。

ともに總持寺にゆかりのある都市というご縁をきっかけに、友好交流都市として協定を締結しました。

協定の締結をきっかけに、鶴見区制 90 周年イベントや三ツ池公園フェスティバル、臨海フェスティバルなど、鶴見のたくさんのイベントに輪島市の皆さんが参加し、輪島市の魅力を発信しています。